

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	地域ケア会議推進事業	コード	2214
-------	------------	-----	------

2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	介護福祉課	作成者	矢澤 亜矢
--------	----	-------	----	-------	-----	-------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	福祉の推進	施 策	高齢者福祉の推進
		予算科目	地域ケア会議推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	介護保険法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	岡谷市地域包括支援センターにおいて、多職種協同による個別事例の検討等を行い、地域のネットワーク構築、ケアマネジメント支援、地域課題の把握等を推進する。		
目的	対象者	医療・介護・福祉の専門職、民生児童委員、市民等	
	意 図	地域ネットワークの構築・地域課題の把握・介護支援専門員の支援へつながる。	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>○地域ケア個別会議（Ⅰ） 地域包括支援センターによせられる個別支援・総合相談等や介護支援専門員からよせられる支援困難事例の解決に向け、また、介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援のため、随時開催した。 開催数：12回 対象者数：18人</p> <p>○地域ケア会議（Ⅱ） 個別ケア会議では解決が困難な事例や個別ケースから見つかる課題等を検討、解決した。また、会議を行う中で、地域のネットワーク構築などを行った。 開催数10回</p> <p>○地域ケア推進会議（Ⅲ） 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けていけるよう、支え合うことのできる地域づくりのために、情報を共有しネットワークの構築を図った。 開催数：1回</p>			
前年度の課題への対応	令和元年度は、岡谷市地域ケア会議運営マニュアルの作成を行った。また、個別課題から見えてきた地域課題の発見・把握を行い、資源開発や政策形成に繋げられるよう、各事業において検討を開始した。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	地域ケア会議開催数			単位	回
実績値	47	19	23		
*指標の説明	地域ケア会議Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの開催数				
② 成果指標（指標名）	地域ケア会議実施対象者数			単位	人
目標値	30	15	15	20	
実績値	20	10	18		
達成度	66.7%	66.7%	120.0%		
*指標の説明	地域ケア個別会議の対象者数				
*目標値の設定方法の説明	後期高齢者の増加に伴い、支援困難事例が増えているため、実績より目標値を増やし設定した。				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	327,696	284,515	99,096	292,000
経常経費	327,696	284,515	99,096	292,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト(①+②)	4,327,696	4,284,515	4,099,096	4,292,000
前年度比		99.0%	95.7%	104.7%
財源	0	0	0	0
一般財源				
内訳	4,327,696	4,284,515	4,099,096	4,292,000
特定財源				
* 特定財源の説明	諏訪広域連合地域支援事業受託収入			
④ 活動一単位あたりコスト	92,079	225,501	178,222	
前年度比		244.9%	79.0%	
⑤ コストに関する補足説明	H30からは、サービス担当者会議やケースカンファレンス等を区別し、純粋に市主催で実施した個別ケア会議を算出した。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	180.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	120.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市の地域ケア会議について、関係者に十分な周知がされていない。 ・個別ケア会議から見えてきた課題を資源開発や政策形成に繋がられるよう、各事業において検討を開始したが、資源開発や政策形成までには時間を要する。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、岡谷市の地域ケア会議運営マニュアルの作成を行った。主任ケアマネの会を活用し、マニュアル内容の検討を行うとともに、介護支援専門員等関係者に周知を図っていく。 ・個別課題から見えてきた地域課題について、必要な事業（一般介護予防事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業、在宅医療介護連携推進事業等）において検討し、施策に反映させていく。 	
	改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---